

競技上の注意事項(お願い)

- 競技の運営が円滑に行われるよう、次の諸点にご協力ください。
 - 1 原則として個人戦すべての試合を当該コートの前の試合の敗者によるソロチェア・アンパイア(SCU)方式で行います。ただし、1巡目の対戦はセルフジャッジ方式で行います。選手は、判定のコールを相手とSCUにはっきりと分かる大きな声とハンドシグナルを使って、ボールの着地後、速やかに行ってください。事実問題の最終裁定はSCUです。
 - 2 大会に参加できない生徒が出た場合の措置については棄権とし、代わりの選手が出る時はオープン参加とします(勝利しても勝ち上がれない)。
 - 3 試合前のウォームアップはトスによるエンド決定の後に開始し、原則としてサーブ4本のみとします。ただし、上位戦は3分間練習を行うことがあります。
 - 4 全ての試合でノーレットルールを採用します。
 - 5 25秒ルール・90秒ルールを厳守してください。
 - 6 ユニフォームへのゼッケン着用等による学校名掲示を励行してください。ゼッケンは右胸に着用してください。服装規定は、現行の全国高体連テニス専門部服装規定に則るものとし、ます。
 - 7 試合はオーダー・オブ・プレー表(OP)の指示により進行します。控え(next=プレー中の次の試合)の選手は、OPに注意して前の試合終了後直ちにコートに入り試合を始めてください。
 - 8 荒天や試合の遅延などによる試合の中断、会場の変更及び試合形式の変更を行うことがあります。高体連テニス専門部ホームページからの情報にご留意いただくとともに、大会本部の指示に従ってください。
 - 9 試合球は、ウイルソン「US OPEN EXTRA DUTY(エクストラ・デューティ)」とし、大会本部で準備します。若番(ドロ番号の小さい方の選手)が本部より受け取り、試合球として使用します。対戦後、開封されたボールは敗者が持ち帰ってください。
 - 10 ベンチは本部に近い方、得点板は上の段を若番が使用します。
 - 11 ボールパーソンは、シングルスにおいて各コート1名認めます。(ボールパーソンは、選手へのアドバイスや応援、拍手をすることはできません)
 - 12 体力の消耗によるMTO(メディカルタイムアウト)はありません。体力の消耗により遅延が生じた場合は、大会本部に速やかに伝えてください。その際、相手への1ゲーム譲渡につき2分程度のセルフケア(ダブルスであればペアのサポートは可能)の時間を、本部の判断により認めることがあります。(熊本県高体連の特別ルールです)ただし、選手が危険な状態であると大会本部が判断した場合は、該当選手の途中棄権とします。
 - 13 リタイアした選手は、同日のそれ以降の試合には出場できないこととする。次の日になれば出場可とする。ルールブック上では他種目であれば出場可能であるが、高校生の大会ではドクターが常駐していない大会も多く、健康安全面および選手の将来を考慮して出場は不可とする。ただし、ダブルスにおいては、リタイアの主因となった選手のみをその対象とする。(令和4年2月3日：全国高体連テニス専門部)
 - 14 トイレットブレイクはありません。緊急にトイレに行かなければならない状況になった場合は、大会本部に速やかに伝えてください。その際、相手への1ゲーム譲渡につき2分程度の時間を、本部の判断により認めることがあります。(熊本県高体連の特別ルールです)
- その他
 - 1 試合中の動画撮影、写真撮影等については両選手、顧問の許可をとってから行ってください。
 - 2 JTAルールブックに則り、選手には試合終了後の挨拶で握手をお願いしています。

《熊本県高等学校テニス新人大会(個人戦)の注意事項》

- 1 シングルスについて
 - a.決勝戦を 8 ゲームズプロセットマッチで行い、他の全ての対戦を 1 セットマッチで行います。8 ゲームズオールまたは 6 ゲームズオールで ITF 方式タイブレークを採用します。
 - b.3 位決定戦、5～8 位決定戦を行います。
- 2 ダブルスについて
 - a.他の全ての対戦を 1 セットマッチで行います。6 ゲームズオールで ITF 方式タイブレークを採用します。
 - b. 3 位決定戦を行います。
- 3 全国選抜高校テニス大会における各都道府県個人戦代表の選手選出については、熊本県においては本大会シングルス競技の結果を基に選出します。

《全国選抜高校テニス九州地区大会熊本県予選（団体戦）の注意事項》

- 1 登録選手および監督の変更については、届け出方法を確認の上、期日を厳守して行ってください。締め切り以降は、大会ディレクター(専門委員長)に連絡をお願いします。
- 2 受付は、各会場において、開始式前までに各学校の代表者が行ってください。初戦の対戦が決まっている場合は、その際にオーダー用紙を提出してください。
- 3 審判について
 - a.1 巡目から始まる対戦は、組合せ番号の早番が S 1 と S 2 と S 3、後番が D 1 と D 2 の S C U(ソロチェアアンパイア)を行ってください。人数不足で審判ができないときは、相手に担当してもらうか、セルフジャッジで対応してください。
 - b.2 巡目以降から始まる対戦は、敗退校による S C U(ソロチェアアンパイア)とします。敗退した学校は、本部にて審判を担当する対戦を確認してください。
 - c.選手は、判定のコールを相手と S C Uにはっきりと分かる大きな声とハンドシグナルを使って、ボールの着地後、速やかに行ってください。事実問題の最終裁定は S C Uです。
 - d.審判は水分補給、帽子の着用、日傘の使用、防寒着等を用いて体調管理に努めてください。
- 4 確認事項
 - a.登録人数が3名以下になった時点で、オープン（3名の場合は S 1 D 1、2名の場合は D 1、1名の場合は S 1）とする。
 - b.初戦は原則として5ポイントすべて行う。人数の差異がある場合は人数が少ない学校の選手が重複して出場してオープンによる対戦を行うことを原則とする。
 - c.試合開始にあたっては、両校監督・選手整列の上で挨拶を交わし、オーダー用紙の交換を行う。その際、登録選手は全員整列することを原則とする。
 - d.ベンチコーチの助言は、エンド交代時に限る。また、コートに入れる者は、監督または登録選手、各コート1名に限る。
 - e.ベンチコーチのコート移動に際して、コートより出入りするタイミングは、ポイント間に統一することとする。（令和4年2月3日：全国高体連テニス専門部：第44回全国選抜大会より採用）
 - f.団体戦スコアが3ポイント決まった時点で、その他の試合はポイント打ち切りとする。